

NSW



音声制御



カメラ付き



画面付き



realwear®

製品紹介資料



音声認識による100%ハンズフリーウェアラブルデバイス

このような作業に向いています



危険な場所での作業



手が汚れる、汚せない



両手が離せない



軍手、グローブの作業

工場、石油化学、エネルギープラント、建設、オートモーティブなど
約7,000社の企業でグローバルに採用されています

商品構成 – Navigatorシリーズ



耐久性と軽量を兼ねそろえた、
Navigatorシリーズの導入モデル



Navigator500の機能はそのまま
により大きく、鮮明なディスプレ
イの上位モデル



シリーズ中、最高の処理スペッ
クを持つ、防爆認証CML Japan
認定を取得した最新モデル

商品構成－周辺サービス

 realwear. Cloud Pro Workspace

RealWear端末のWEB管理サービス。アプリのインストール、リモート操作が可能です。

 realwear. Service & Support Pack (SSP)

故障時の先出しセンドバックとRealWearCloud Pro Workspaceがセットになったサービスです。

 realwear. Accessories

RealWearの利便性を向上させるアクセサリをラインナップしております。

 realwear. Explorer

RealWearの画面をPC画面に表示し、PCのキーボード、マウスで操作可能なミラーリングツールです。

Navigatorシリーズの概要

落下や耐久テストをクリアし防塵防水、高温になるタフな場所でも安全に利用できる堅牢性



低照度でも使用可能な
48MPカメラ

防護具との親和性が高い
ヘッドマウントデバイス

ホットスワップ交換
可能なバッテリー

HD (1240×720)の
鮮明な映像のディスプレイ

Navigatorシリーズの概要

取り外し可能なモジュラー型カメラ
サーマルカメラと交換することでより
幅広い場面で利用が可能



指紋リーダー

優れたノイズキャンセル機能、ハンズフリーで利用可能

防爆対応機種 Navigator Z1



RealWear Navigator Z1は、可燃性のある環境での作業効率を向上させ、リスクを軽減するために設計されており、ベテラン技術者が現場を離れた後に生じる知識や技術のギャップを埋める役割を果たします。主に鉱業、石油・ガス、製薬分野の現場で働くプロフェッショナルを支援するために活用されています。

日本：CML Japan認定済み
(日本の防爆TIIS 互換)
EU：ATEX Zone1 認可済み
石油、ガス、可燃性環境でもOK

ATEX

II 2G Ex ib IIC T4 Gb
II 2D Ex ib IIIC T135°C Db IP6X

IECEx

Ex ib IIC T4 Gb
Ex ib IIIC T135°C Db IP6X

NEC500

Class I, Division 1, Groups A,B,C,D T4
Class II & III, Division 1, Groups E,F,G T4

券(30年10月)検
CML 18JPN2258X
i safe MOBILE GmbH
i_Park Tauberfranken 10
97922 Lauda-Koenigshofen
Germany



特定電気用品



特定電気用品以外の
電気用品



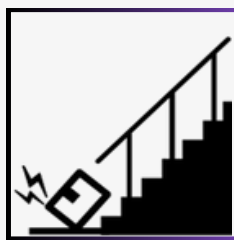
ISO 9001:2015

スマートフォンとの差別化ポイント**100%
音声操作**

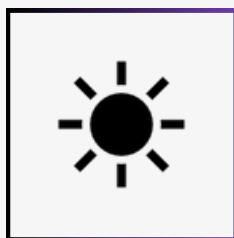
音声操作によって
完全ハンズフリーで
作業可能です

**強力なノイズ
キャンセリング**

100dBAのNC機能で
騒音を遮って通話できます

**産業用規格の
頑丈さ**

IP66の防塵防水規格をク
リアし、-20℃～+50℃
の環境でも稼働します

**鮮明な
ディスプレイ**

日差しに遮られず
屋外でも鮮明です

**交換可能な
バッテリー**

バッテリー交換可能で
充電を待つ必要がありません



**RealWear Navigatorシリーズが
NETISへ登録されました**

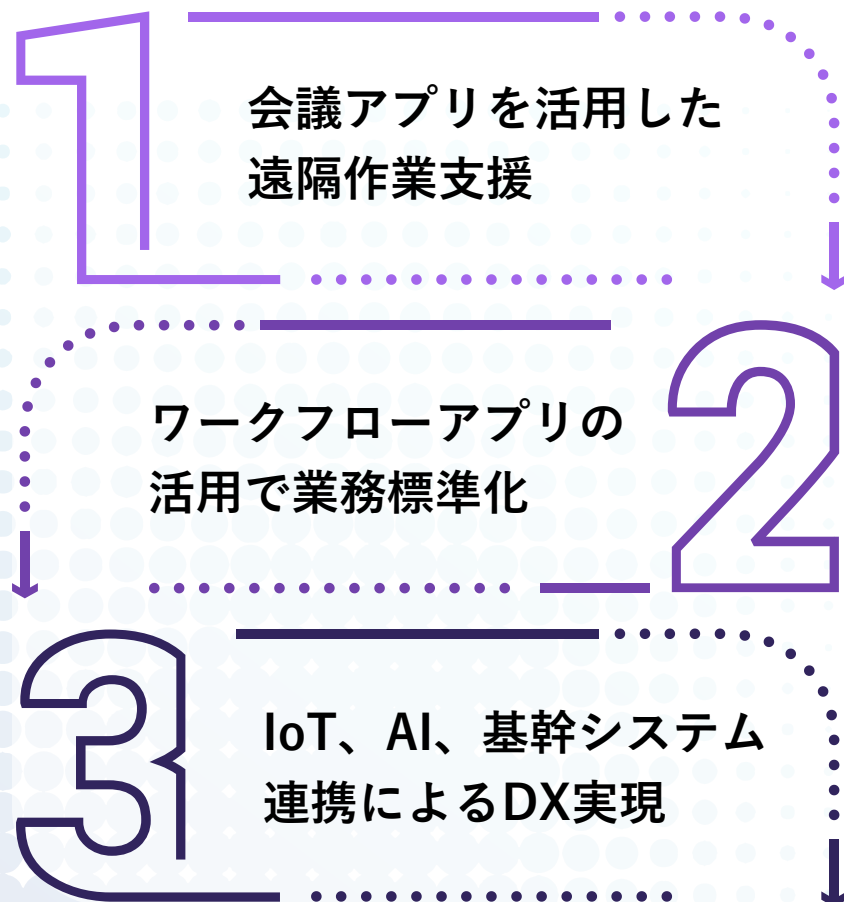
登録番号	KT-230150-A
技術名称	スマートグラス RealWear Navigator

QRコードを読み込んでいただくと
NETIS登録ページを確認できます。



Realwear導入ステップ

RealWearをどのように業務に取り入れ、どのようにDXを実現していくのか、その導入例をSTEP1～STEP3の3段階でご紹介いたします。



STEP1

会議アプリを活用した遠隔作業支援

STEP1は「会議アプリを活用した遠隔作業支援」です。まずはRealWearにMicrosoft TeamsやTeam Viewer Assist ARなどの遠隔作業支援アプリを入れることで、RealWearを装着した現場作業員と簡単にテレビ会議を行うことができるようになります。スマホやタブレットではなく、スマートグラスであるRealWearを使ってテレビ会議を行う最も大きな利点は、カメラとディスプレイ、マイク機能がすべて揃ったデバイスを頭に直接取り付け、それらを音声だけで操作することが可能なため「現場作業員の両手が塞がらず、作業の邪魔にならない」ことになります。また、それでいてRealWearは産業用に特化したつくりになっているため、スマートフォンやタブレットにも劣らない高機能なハード性能を有しており、フィールドワーカーへの確かな支援を提供することが可能になります。



現場作業員

- ・ 作業員の出戻りをなくす
- ・ 障害が迅速にエスカレーションされる
- ・ 専門的な対応を映像記録で残せる

遠隔の専門技術者

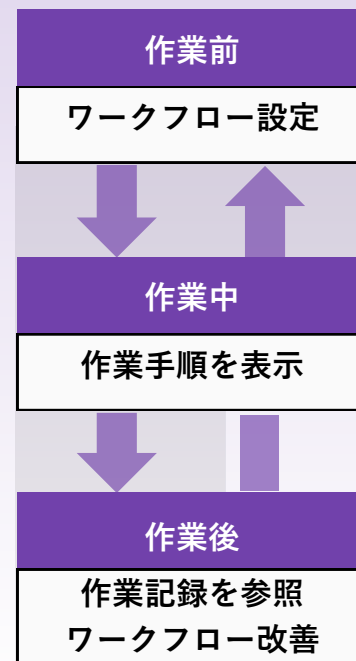
Realwearのカメラ映像と
音声で遠隔の専門技術者と
リアルタイム共有



STEP2

ワークフローアプリの活用で業務標準化

遠隔作業支援アプリを導入したら、次のSTEP2は「ワークフローアプリの活用で業務標準化」になります。RealWearはAndroidOSで動作しており、テレビ会議だけでなく一般的なAndroid製品のように様々なアプリケーション・ツールを用いることができ、専用のアプリケーションを開発することも可能です。例えば、複数人の同伴が難しく直接教育することが困難な作業現場などにおいて、RealWearと業務ワークフローアプリであるTeamViewer Frontlineを導入することで、高品質で安定した教育を行うことが可能になります。TeamViewer Frontlineで現場作業の工程を事前にタスクとして設定することで、RealWearを装着した現場作業員のディスプレイに作業手順が表示されるようになり、さらに作業にかかった時間や作業風景の動画がデータとして保存され、次のワークフローの見直しに活用することができます。また他のアプリでは、検品・検査業務などにおいて、RealWearを装着した現場作業員が検品結果を音声で読み上げてRealWearにデータとして取り込み、そのデータをWi-Fiネットワーク経由でデータサーバにリアルタイム送信することで現場でのワークフローを省略することなども可能です。



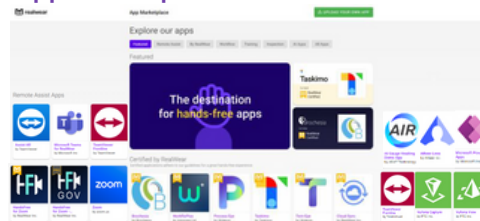
STEP3

IoT、AI、基幹システム連携によるDXの実現

RealWearのワークフローアプリを用いてワークフローの策定と改善ができるようになれば、いよいよ最終段階、STEP3の「IoT、AI、基幹システム連携によるDXの実現」になります。RealWearには専用のアプリストアがあり、AndroidOSを活用した様々なアプリケーションが利用可能です。また、サーマルカメラなどのモジュール・アクセサリも多数あり、多様な環境に適応し、DXを拡張させていくことができます。

RealWearはウェアラブルデバイス・スマートグラスとして、現場作業員を直接サポートし、即座に結果へと繋げることができます。フィールドワーカーに根付いた現場主導のDX化を実現しましょう。

App Marketplace



本体のみで行えること
スタンドアロンかつ
専用ソフトウェア不要

- 写真・動画の撮影
- 動画再生
- ドキュメント参照

- ・ナレッジ共有
- ・作業記録
- ・品質検査
- ・ペーパーレス化
- ・トレーニング

ソフトウェアとの
組み合わせで行えること
パートナー企業のソフトウェア
またはカスタマイズ開発

遠隔作業支援
デジタルワークフロー
IoTデータの表示

現場作業員のカメラ映像をリモートから確認し、的確な指示が可能に。

IoTデータを参照し、メンテナンス作業をしながら対象機器の状態をリアルタイムで確認。

的確な作業指示によりミスや抜け漏れを防止。写真による作業報告も簡単に。

製品購入に関するお問い合わせ

TEL:03-3770-0096
ml-rw-sales@ml.nsw.co.jp

NSW株式会社
サービスソリューション事業本部
営業統括部第一営業部

<https://dx.nsw.co.jp/realwear/>
<https://dx.nsw.co.jp/solution/smart-maintenance/>

